

研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 （平成31年度～令和2年度）
研究開発課題名	患者層別化マーカー探索技術の開発／潜在疾患マーカー同定による新規創薬基盤技術のフィージビリティ研究
分担研究開発課題名	潜在疾患マーカー同定による新規創薬基盤技術のフィージビリティ研究
代表機関名	国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究開発代表者名	夏目 徹

【評価結果】

優れている／計画した成果をやや上回る成果が得られた

【評価コメント】

潜在疾患マーカー探索・同定のための基盤技術として、ロボティクスを駆使し、プロテオミクス解析、メタボローム解析、リポドミクス解析等のマルチオミクスデータをAI技術により解析し、患者層別化および潜在疾患マーカー同定のための基盤技術を確立し、フィージビリティを実証したという意味で、当初の目標は達成された。さらに、実証研究として、アルツハイマー型認知症におけるマーカー候補化合物等を見出し、健常者と患者の層別化に成功している。得られた成果は、様々な疾患への応用の可能性を示唆している。今後の実用化のに向けた課題も十分把握しており、今後の発展が期待できる。

以上